

カルスト通信

もり も 森林のたより



Karst
correspondence

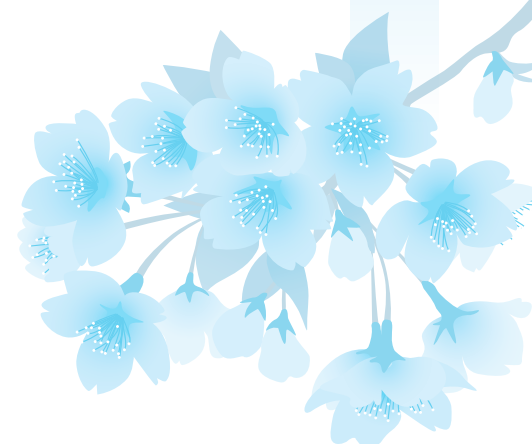
2018
vol.37



カルスト森林組合



代表理事組合長
高須 修三



春弥生、木も花もつばみをふくらませて参りました。組合員の皆様にはますます御清勝のこととお喜び申し上げます。

平素から組合運営につきましては、各般にわたり格別のご支援・ご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、本年は、『準備万端・怠りなく』を掲げ、人工林が本格的な利用期を迎え、豊富な森林資源をいかに効率よく活用し、いかに収益を上げ、その収益を還元すること。そのための準備を進めて参ります。

人手不足を嘆くより、木材価格の低迷を嘆くより、早く現状を理解し、対策を講じていきたいと考えます。前号でお知らせしましたように、「地域の森林に対する長期ビジョンを有し森林の公益性を発揮させることを目的とした事業『公益信託 農林中金森林再生基金（農中森力基金）』が農中信託銀行より資金提供を頂き、実現可能なシステム構築の為の実証試験に着手することが出来ました。

一例をご紹介しますと、現状では、森林整備事業の事前調査には航空写真等を活用します。資源の質・量や地形状況の把握が必要となりますが、特に立木調査では、調査員の個人差もあり、得られる情報は限られ、十分な調査には人手と時間を要します。

今回の実証試験では、上空調査と地上調査にドローンによる空中撮影（エアアーB）と地上レーザー（アドイン研究所）計測を実施しました。ドローンでは上空からの情報がりアルタイムで送られてきますし、データを保存することも可能で

国定公園「秋吉台」区域内の関係者の協働による

森林再生モデル事業

この度、カルスト森林組合は、平成28年度に応募した農林中央金庫の「公益信託 農林中金森林再生基金」（通称：“農中森力基金”）に採択され、国定公園「秋吉台」区域内の約30haの未整備のスギ・ヒノキ人工林を再生するモデル事業を実施しました。

今回の“農中森力基金”では、国定公園の規制や景観保全に配慮するために、先進的な機械（タワーヤード、スイングヤード）を借り入れ、外部講師から技術的な助言と現場指導を受けました。また、先進的な取り組みを行うことによる森林組合職員の技能向上を目指し、森林整備に取り組みました。

今後も新しい技術を積極的に取り入れ、林業の担い手の育成に力を入れて地域の森林の活性化に寄与してまいります。



す。位置情報が把握出来ることから林地調査作業もスムーズに移行することが出来ました。また林内調査を地上レーザー計測で実施しますと、胸高直径・樹高・曲がりなど計測し、データから材積や立木の配置また地形も図形化が図られました。正確な地形や資源量の把握は、作業路の路線設定を始め等級別の仕分けなど、更に効果的な運用が期待され、低コスト化搬出システムの構築に繋がると考えます。経験に勝るものではありませんが、時間の軽減に繋がり、正確性を期する上でも利便性に優れたシステムと言えます。

次に、奥地の資源や地理的要因等での木材搬出困難地対策が必要となることから、対処法として架線系の集材システムが有利と判断し、山口県下で初となる最新型のオーストリア製タワーヤード（サナース・JA三井リース）を用いた架線系集材作業を実施しました。従来型の本架線集材に比べますと、設置と撤収時間は大幅に短縮され、各種のコントロールシステムにより安全面は確保されており、人員の軽減が図れます。また大掛かりな設営が不向きな小規模地では簡易架線系のスイングヤード（キャタピラー）を用い、条件の差異に合わせた適正配備の検証を行っております。技術指導には、山口県農林総合技術センターの協力を頂き、工程調査等のデータ収集と解析は、専門家（宮原土木建設）に依頼しております。

実証試験に着手する背景には、戦後、復興目的で植林された木が収穫期を迎える一方で、適切な管理不足から荒廃森林が増加する傾向にあります。適期の収穫、または再生目的で行う本数調整伐倒材の活用が急がれるからです。森林の公益的機能と森林産業の充実を図るためにも、低コスト搬出システムの構築等、新技術の導入は不可欠と考えております。引続き機種選定をはじめ費用対効果についても、検証を進めて参ります。

最後になりますが、やはり林業は人の手によって成されるものだと思います。皆様に引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、吉運のもとで素晴らしい一年となりますよう祈念しまして、本年最初のご挨拶とさせていただきます。

※ご紹介しました実証試験には、地元所有者をはじめ、農林中央金庫・全国森林組合連合会・山口県・山口県美祿農林事務所・美祿市また多くの企業の皆様にご支援をいただいております。

整備前



整備後



『協力事業体』の紹介

山之井林業（美祢市）

今回は、美祢市の**山之井林業**を紹介します。
山之井林業は、班長の山之井意広さんと班員の原達也さんと構成された協力事業体です。

元々は、造林や保育を中心に作業をされていましたが、平成22年頃から林業機械を導入され、作業路開設や搬出間伐、皆伐もされるようになりました。

保育で培われた丁寧な作業と機械を使用したスピード感のある作業が持ち味の協力事業体です。今後のますますの活躍を期待します。



美祢 ジオパーク 学習へ



今年の2月に、ジオ学習として、美祢市立厚保中学校の1年生に厚保地域の森林資源について、お話をさせて頂きました。

当日は高須組合長、藤岡事業課長よりジオについて、また厚保地域の地質や森林の恵み等を説明しその後、地元のコナラを使用したシイタケの駒打ち体験を行いました。2時限を使った授業でしたが、森林にも目を向けてもらえたのかなと思っています。生徒達には地域の理解を深めるだけでなく、地域への誇りや愛着を育み成長してもらえればと思います。



困った木 ありませんか？

家の裏や屋根に掛かった木、大きくなりすぎて困っている木はありませんか？
お早めに伐採することをお勧めします。
ご連絡頂ければ見積りに伺います。

見積
無料



森力基金での新しい取り組みについて

1 タワーヤーダ・ウッドライナーでの集材

JA三井リース(株)の計らいにより、(株)サナースの欧州製タワーヤーダを借用し、簡易架線集材を行いました。この機械は索1本を張りそれに自走式搬機が移動し巻き上げを行い、すべてリモコン操作により集材作業を行います。初めて使用する機械のため、(株)サナースの阿部専務にも現地研修会の講師としてお越しいただきました。タワーヤーダは元柱の設置が不要で、仮設・撤去の時間が短縮され、自走式(キャタピラ)のため林内路網での移動・設置が容易でした。最大で600mの距離を集材できます。



2 スイングヤーダでの集材

日本キャタピラー合同会社より借用した機械で、元柱の代わりに建機のブームで利用し本体付けのドラムから索を出して集材を行う機械です。小回りが効き最大で200mの距離を集材することができ、地引集材で効果的だと思います。この度山口県森林企画課の素材生産技術パワーアップ研修事業において、中国林機(有)の住田さんを講師に迎え架線技術実践研修を行いました。安全作業はもちろんのこと、効率的な索張り方式等ご教授頂きました。



3 データ分析・検証

地上レーザー測量を(株)アドイン研究所による森林3次元計測システム「OWL」を使用した林内の立木状況調査を行って頂きました。手計測の手間を省くためレーザーによって、樹高、胸高直径、立木本数、土地の傾斜等得られる情報により、搬出予定材積や路網開設のルート選定など事業計画を立てるのに役立ちます。0.50haの計測に2時間もあれば行えますし、機械本体も軽量で林内の移動も容易です。今後木材生産を行ううえで正確な見積が積算出来ると思います。

また、(株)宮原土木建設さんには、架線集材での作業データ取りと分析をお願いしています。作業工程においてどこがボトルネックとなるのか、コストは見合うのか、今後簡易架線集材を行うにあたっての問題点等をも導き出して頂きました。



4 森林調査でのドローン使用

AirBの梶井さんにご協力頂き、秋吉台周辺をドローンで撮影して頂きました。事業地全体のイメージづくりに役に立ち、環境林として残したい山や実際に木材搬出を行う山など本事業のビジョンに基づくゾーニングが行えました。今後は森林調査や被害森林の把握も簡単に行えると思います。



以上皆様のご協力により今回の事業で様々な経験をさせて頂き、今後の事業に向け職員もスキルアップ出来たと思います。新しい技術にもどんどん取り組み、新しい若い力も取り込みスマートな林業を目指したいと思います。

林業安全報告

年末年始に、高須組合長、藤岡事業課長、山中係長で安全パトロールを実施いたしました。現場に赴き、協力事業体の美山森(びさんしん)、(株)MIYAZAKI、直営の泉班、以上3班の班長並びに作業員へ安全指導を行いました。



指導事項

- ①冬期作業での転倒災害防止
足元の確認、不安定な作業姿勢をとらない。
- ②振動障害防止
耳栓、防振手袋等の安全装備を着用すること。
- ③近接作業の禁止
作業員間の安全距離をとること、お互いの作業は気に掛けること。
- ④目立つ服装
相手に自分の位置を確認して貰う。
- ⑤指差呼称の徹底
など指導・注意喚起を実施しました。

見て、触れて、楽しんで! 森林の魅力に包まれる

第3回

美秋林業まつり

JA山口美祢農業まつりと
同時開催!

■ 日時:平成29年11月26日(日) ■ 会場:美祢市役所・美祢市民会館周辺 主催:カルスト森林組合

JA山口美祢農協の農業まつりと同時開催で行われてきました「美秋林業まつり」も3回目を迎えました。小さい子供さんに大人気の“森の動物園”、子供から大人まで夢中で打ち込まれていた“シイタケの駒打体験”、大きな松ぼっくりにみんなビックリ!!“木の実のクラフト作り”など、地域の森林を身近に感じていただけたと思います。

当日は、お昼過ぎ頃から雨が降り始めましたが、たくさんの方がご来場くださいました。ありがとうございました。



山火事予防

2月から4月にかけては、空気が乾燥しますので、山火事が発生しやすい気象条件となります。火気の取扱いに気をつけましょう。

林野火災の予防措置

- ① 枯れ草等に延焼するおそれがある場所では、たき火をしない!
- ② たき火等火気の使用後、その場所を離れるときは完全に消火する!
- ③ 強風時及び乾燥時には、たき火や火入れはしない!
- ④ 火入れを行う際は、必ず許可を受ける!

組合員の名義変更をお願いします。 組合員資格に係る届出のお願い

- ① 死亡による相続
- ② 譲渡
- ③ 記載事項(住所等)の変更

上記に該当する変更が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要となりますので、該当される方はお早めに所定の手続きをお願いいたします。なお、手続き(届出)の詳細につきましては、本所・総務課までお問い合わせ下さい。

木材市況表

県森連山口共販所/第849回
平成30年2月26日

樹種	長さ	径級	中値
杉	4m	14~16	11,000
		18~22	13,000
		24~28	12,500
	3m	14~16	13,000
松	4m	18~22	13,000
		24~28	15,000
		28~34	17,500
	3m	14~16	16,500~17,000
杉	6m	14~16	17,000
松	6m	18~22	16,500
杉	6m	18~20	15,000
松	6m	16	18,000
		18~22	25,000

(※単位:1㎡当たり)

編集後記

2018 vol.37 (年2回発行)

カルスト森林組合は、組合員の皆様のおかげをもちまして、平成30年2月2日に発足20年を迎えました。

今後も組合員の皆様のお役に立つ紙面づくりを心掛けたいと思っていますので、ご意見等ございましたら是非お寄せください。次の10年に向けて、これからもよろしく願いいたします。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL.0837-52-3332/FAX.0837-52-2587